

二八八七番

立ちて居て たどきも知らず 我が心 天つ空  
なり 地は踏めども

二八八八番

世の中の 人の言葉と 思ほすな まことそ恋ひ  
し 逢はぬ日を多み

二八八九番

いでなぞ我が ここたく恋ふる 我妹子が 逢は  
じと言へる こともあらなくに

二八九〇番

ぬばたまの 夜を長みかも 我が背子が 夢に夢  
にし 見え反るらむ